

○議長（前原英石） 森 弘秋議員。

○5番（森 弘秋） 5番森です。私からは、通告してあります、村内の観光地をどのように組み立てるのかについて質問いたします。

つい先日、子育て支援金法が成立しました。しかし、周りの人の話では、ずーっと独りでいるほうがいいという若者はたくさんいるそうです。

いずれにしても、人口減少に歯止めがかかりません。昨今話題になった、人口戦略会議が公表したデータによれば、富山県では消滅可能性のある市町は2市3町であると言っております。

「限界集落」という言葉もあります。地域住民の50%以上が65歳以上の集落。2015年、10年前ですか、国土交通省の調査によると、今後10年以内に消滅すると予測される集落は570あると見られる。まさに2025年、来年ですね。そういった消滅可能性のある市町村が公表されました。

また、先日も人口問題で報道されておりました。5月1日現在で、前月比で人口増になったのは富山市、舟橋村のみであります。

いかに人口減を食い止めるか。村長、どうされますかね。

舟橋村は安全圏ではあるものの、社会減の対策が必要であると指摘されております。若者をいかにして村にとどめるか。村長もあぐらをかいてはおられません。

さて、舟橋村ではフラワープロジェクト構想が進んでおります。勝手に直訳すれば、花の企画開発事業です。

先日、入善町のフラワーロードを見に行きました。残念かな、祭りの最盛期は4月の14から15日と聞きました。現地に行ったのは4月28日であります。満開の花はほぼ摘み取られておりました。僅か一握りのオレンジ色畑のみであります。それだけでも見応えがあるのに、最盛期のお花畑は、さぞかしきれいであっただろうと感心しました。

このような中で、村は秋田県の大館市議会議員の日景賢悟氏を招き、「すべては未来を担う子供たちのために」と題して講演がなされました。

大館市の子どもたちの経験として、お金の大切さ、商業の発展、コミュニティの発展、金融教育、関係人口の増等あるのですが、まさに「すべては未来を担う子供たちのために」のキャッチフレーズに合致しているものと感激しましたが、私の考えている観光とは少し目線がずれていると思いました。目的に合致しておらんと、私ですね。

別に秋田県大館市を批判するのでありませんけども、はっきり申し上げて、残念なが

ら、私の考えている姿、構想とは若干ずれていると感じて聞いておりました。

そこで、我が村の構想では、具体的には、村でサンフラワープロジェクトを実施。村内の休耕田でヒマワリを育て、収穫した種から油を取り出し、加工品の開発を行うというものです。

村長は、1週間程度であるが、その間、満開のヒマワリを見に来ていただける人を増やすというものです。情報発信して人を呼び込む。

私的な考えですが、誰が来ますかね、1週間。村長、もっと汗をかかんと駄目ですよと私は言いたい。

ここは物理的に動かないと駄目だと思いますが、幸い、地域おこし協力隊を結成。読みますと、難しいことを述べておられます。私にすれば、第2、別の村の地域おこし協力隊を結成して、村内、立山・上市町内、富山市内に宣伝・アピールする。それくらいの発想の転換が必要です。そして、いずれは、県内を問わず、全国に発信する。別途、ロゴマークもできると聞き及んでいます。

そこで、村は、今後どのようにこのヒマワリ畑をPRし、観光地とし、観光客を増やし、関係人口を増やしていくのですか、考えねばならないと思います。

先ほども言いましたけど、サンフラワープロジェクトを直訳すれば、花の開発事業だと思います。私の言うのは、まさに観光そのものです。間違っていたら、言ってください。

ロゴマークもできます。各要所地域の街頭における宣伝をどう考えますか。どのように宣伝するのか。チラシ、看板、新聞広告、アドバルーン等、たくさんありますが、かかる予算づけをどうするのか。

人それぞれに考えが違って当たり前です。今後、村はどのようにこのヒマワリ畑を位置づけし、ヒマワリ畑をPRし、観光地として観光客を増やし、関係人口を増やしていくのですか。そして、発展させるのか。どのようにアレンジしていかれるのか。

村長は常々、適度な田舎感を残しつつ、村が発展・繁栄するためには、関係人口に注目する必要があると言っておられる。私は、この「適度な田舎感」を残す。いい言葉ですね。好きな言葉です。

村長に言いたいです。ルーチンワークは、当然にして当たり前であります。そこで、いつも言うておりますが、村のトップでありますから、この村をどうするのか。これをいつも考えるのが村長であります。どうすれば村民が幸せに過ごせるのか考えるのが村

長の大事な仕事であります。

先日、あるご婦人が村長に進言したそうです。未来ある子どもたちも大事です。ですが、高齢者のことも忘れないでいただきたいと言われたそうです。

そこで、村長に再度問います。田舎感を残しながら、村をどの方向に持っていくのか、導いていくのか。面積が日本一小さい村です。子どもたちの満足度を考えながら。

視点は変わりますが、人を引き寄せることが大事。人口減少。消費が落ちる。生産が落ちる。経済が活気がなくなる。この現象をどのように食い止め、具体的にどのように進めていくのか。どのように村民に還元するのか。ここからが正念場であります。

種を植えました、油を取りました、売りましたでは、済まされません。来年はどうされますか。いや、3年後、4年後、持続可能な発展ある村のために、この事業をどのように組み立てられますか。さらに言うならば、別の事業も考えられますか。

秋田県大館市の「すべては未来を担う子供たちのために」のスローガンのように、舟橋村は「すべては村民の幸福度の向上のために」やってほしいと思います。

終わります。

○議長（前原英石） 渡辺村長。

○村長（渡辺 光） 5番森議員のご質問にお答えいたします。

村内の観光地をどのように組み立てるのかというご質問に関しまして、サンフラワープロジェクトを題材に今ご質問をいただいたかと承知しております。

舟橋村は日本一小さな自治体であるがゆえ、ご承知のとおり、観光資源が非常に乏しいと私自身、感じております。

その上で、本年度実施いたしますサンフラワープロジェクトは、今ほど森議員がお話になりましたとおり、関係人口を増やすという目的ももちろん据えております。事業への参画、そしてその先に見据えている加工品の製造やその加工品の購入という形で、舟橋村の関係人口の増加はもとより、やはり大きく作用されるのは、満開のヒマワリを見に来ていただけることが挙げられると感じております。

過去、東芦原地区にある高平メモリアル常願寺スポーツパークは、造成前には一面のヒマワリ畑でした。当時、付近を通ると多くの方が車を止め、満開のヒマワリを撮影している姿を目にした記憶があります。今月の広報表紙下段に掲載したヒマワリは、私が当時、今ほどお伝えしたと同様に、車を路肩に止めて撮影したヒマワリの写真であります。

このように、景色という側面のみでも観光資源になり得ると考えておりますが、来年度以降、さらに一定規模の面積が確保できれば、このヒマワリ畑を迷路にして遊べるような、いわゆるアクティビティーを掛け合わせることや、そのヒマワリ畑周辺でしっかりと休憩が取れるようにすることも、より効果を高められる、そういった取組になると考えております。

一つの取り組みでいかに効果を高めていくかを今後も継続的に検討しながら、より多くの村民の皆様にも関りをいただけるよう、事業を発展させていきたいと考えております。

そして、本事業は人のつながりを創出する事業でもあります。コロナ禍によって、人と人の関係性やコミュニティ間も同様に希薄化が進んでいると感じております。村内の各種団体の会員の減少化、高齢化が顕著になっております。そのためにも、本事業を通じて会員の獲得につながるつながりを得てほしいと考えております。

老若男女、誰でも関りが持てるよう選定したのがヒマワリであります。人と人とのつながりは、精神的な安心はもとより、環境的な安全につながると考えております。人となりを理解できる、そういった機会の創出にこの事業をつなげていきたいと考えております。

そして、今ほどご質問がございました、高齢者に対する思いやり、どのように心を寄せていくかという部分。先日も公園カフェのほうにも参加させていただきまして、直接お声を聞きましたが、やはり舟橋村の高齢者の方、一番悩んでおられるのは移動支援ではなかろうかと思えます。ちょっと友達と会う、遊びに行く。ちょっとあそこに行きたい。そういった要望が非常に強いと感じております。

現在、村と社協さんとで、この地域交通の在り方、今後の行く末を引き続き協議も進めております。私自身、公約にも掲げました自動運転バスの導入の是非、こちらに関しても、来年を是非の判断時期と据えておりますので、今後も皆様方に情報のほうは共有をさせていただきまして、議論を深めてまいりたいというふうに考えております。

そして、今般、様々な移動方法、公共交通の方法が解禁になっておると感じております。南砺市をはじめとする地域では、ライドシェアのほうも積極的に現在進めております。私もそのコミュニティの中に参画しておりまして、現在そういった情報の共有を積極的に進めております。

この舟橋村において、こういった、こういった移動支援が最適なのかということも含

めながら、この自動運転バス、そして公共交通のくだりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、議員の皆様にはご理解のほどお願い申し上げまして、簡単ではございますが、答弁とさせていただきます。